



『精神療法の技法—支持的精神療法から精神分析まで』

精神分析と精神分析的な精神療法の異同について、これまでさまざまな議論がなされてきました。前回の Lecture Day では、頻度の問題を取り上げました。今回の Lecture Day では、精神療法の技法について取り上げます。精神分析的な精神療法には、支持的な精神療法から精神分析に至るまで、さまざまものがあります。これら二つの類似点および異なる点についてはさまざまな議論がありますが、今回は特に、技法的な観点からこれを考察します。日本精神分析協会の2人の精神分析家各々の考えをお話しいただきます。その上で、日本精神分析協会の精神療法家に事例を提供していただき、ディスカッションを行います。広く精神分析的な精神療法に関心のある方が、その特徴についての理解を深めることのできるような企画となっております。今回は、オンライン開催となっております。多くの皆様の御参加をお待ちしています。

日 時：2025年3月2日（日）

時 間：12：00～16：00

場 所：オンライン（Zoom）

参加人数：50名

対 象 者：心理臨床家、精神科、心療内科等精神保健に関する臨床経験をお持ちの方、
その他守秘義務を保持される方。

参 加 費：4000円

プログラム

司 会、Opening Remarks：吾妻壮

講義 1.（12：05～12：55）

「精神療法の技法の連続体」

講師：権成鉉

講義 2.（13：00～13：50）

「支持的心理療法について考える：その有用性と限界—精神分析の観点から」

講師：池田政俊

講義 1, 2 についての指定討論：田中克昌（13：50～14：05）

フロアとの討論（14：05～14：15）

——休憩 15 分間——14：15～14：30

臨床実践ディスカッション（14：30～16：00）

提示者：関真粧美

コメント：権成鉉、池田政俊、田中克昌

フロアとの討論

Closing Remarks：吾妻壮

申込方法：右記の QR コード、または下記 URL よりお申し込みください。

<https://forms.gle/MtjV9r9GjXBGsULf6>

または添付の申込書にご記入の上、E-mail にてお送り下さい。E-mail：tokyo@jpas.jp

申込期限：2025年2月27日（木）



日本精神分析協会 LECTURE DAY

参加申し込み書

本参加申込書は 2月27日(木)までに E-mail にてお送り下さい。

E-mail でのお申込みは、件名を「第11回 LECTURE DAY 申し込み」として、以下の項目を本文にお書き頂くか、申込書を添付して下さい。

日本精神分析協会事務局

E-mail : tokyo@jpas.jp

氏 名	フリガナ	女性 ・ 男性
連絡先 (自宅・勤務先)	〒 —	
TEL		
E-mail		
勤務先 (職種)		
参加費：4000 円 ※先着順に受け付けます。参加の可否については受付後順次申込書に記載のメールアドレスにご連絡いたします。その際振込先のご案内もいたします。参加が決まりましたら、Zoom のご案内をいたします。		

※申込書に記載の個人情報は、セミナーのご連絡、ご案内の他には使用いたしません。